

2学期末テストへ向けて！

実力テストでは、努力の成果を発揮できましたか？実力テストが終わって解放感に浸りたいかもしれませんが、次は2学期末テストが迫っています。より一層、勉強に集中しましょう。

自己申告書について

進路決定に向けての準備も忙しい時期になりました。公立高校を受験する人は、出願時に自己申告書の提出が必要です。進路説明会で話したように、入試の総合点においてボーダーゾーンに入った人は、自己申告書と調査書を元に合否が判断されます。「ボーダーゾーンに入らなければ関係ないんでしょ？」と思った人もいるかもしれません。でも、自分がボーダーゾーンに入るかどうかは、入試当日の点数次第で決まるので、誰にでも可能性があることです。つまり、自己申告書はとても大切な書類なのです。

自己申告書は、中学校生活での経験から学んだこと、それをもとに高校で頑張りたいことをアドミッションポリシーに則って書きます。つまり、「自己アピール」と「志望動機」を書くものです。A4用紙両面です。文字の大きさにもよりますが、1000字～1500字程度です。聞いただけで、「難しい」と思ったことでしょう。これだけの長文に自分の考えを凝縮させて書くというのは、みなさんにとってはきっと初めての経験なので、初めは上手くは書けないかもしれません。

去年の先輩方も、四苦八苦しながら何度も書き直しをしていました。そこで、まずは予備懇談をしている総合・特活の時間を使って自己申告書を書いてもらいます。書く時のポイントや注意点は、特活の時間に配られた用紙をみてください。

まずは、自分自身を振り返り、もう一度、進学先で何を学びたいのか、どんな将来像を描いているのか、この機会にしっかり考えてみましょう。自分のやりたいことが明確になると、自己申告書も書きやすくなります。自分一人ではなかなか書けないという人は、保護者にも相談しましょう。進路について話す機会になりますし、気づいていない自分の良さを教えてもらえるかもしれません。

公立高校を受験しない人は提出は不要です。ただ、私立高校等においても面接等で志望動機などを聞かれますので、そのための準備のつもりで考えてみましょう。また、今後の進学や就職において、自己申告書のような書類を提出する機会は沢山あります。大学のAO入試や就職時のエントリーシートにもつながります。

自己申告書は先生方で分担してチェックしますので、完成した人から提出してください。

提出〆切は11/30(木)です。期日までに提出した人の分だけチェックします。出来上がり次第、担任の先生へ提出してください。チェックが終わり次第返却します。チェックしてもらったものを元に、冬休みに自己申告書の完成を目指します。みんなには良いところも頑張ったことも沢山あります。自信を持ってアピールしましょう！

配布した資料にもポイントを書いています、気を付けてほしいこと5点を補足します。

① 自己申告書は感想文ではない

例年、部活や行事などの感想を書く人が多いのですが、今回の目的は自己アピールです。感想文ではありません。「体験をもとに、どのように考えて、どう成長したか」を書いてください。

② 作文の決まりを守って書く

用紙はマス目ではなく横罫線のみですが、作文の決まりを守ってください。1. 段落の初めは一文字分空ける、2. 行の途中で改行しない(行の最後まで書く)、3. 序論・本論・結論など文章の構成を整える、4. 誤字脱字がない、といった基本的な事項を守りましょう。

③ 丁寧な字で読みやすく

自分を知ってもらうために高校の先生に読んでもらう文章です。乱暴な字では熱意が伝わりません。下書きだからといい加減な気持ちではなく、本番同様に丁寧な字で書きましょう。文字の大きさは、大きすぎず小さすぎない、読みやすい大きさにしましょう。

④ 少なくとも裏面の3/4以上は書く

自己申告書に文字数などの規定はありません。しかし、せっかく自己アピールの場をもらっているのですから、少なくとも裏面の3/4以上は書きましょう。だらだらと書いて紙面を埋める必要はありませんが、裏面の数行しか書いていないなど、極端に少ないものでは、みんなの熱意が高校側に伝わりにくいです。

⑤ アドミッションポリシー(AP)につなげる

各高校が求める生徒像(アドミッションポリシー 以下APと略します)を発表しています。各クラスに冊子も置いていますし、大阪府HPにも載っています。自己申告書では高校で頑張りたいことも書くのですが、ぜひAPに沿うように書きましょう。例えば、APに「国際的な感覚に優れた生徒を求める」というような内容があれば、国際関係の学問や職業に興味があるというアピールをした方が、よりAPに近づきます。難しいと思いますが、「高校の求める生徒像に、自分が当てはまるよ！」と伝えるつもりで書きましょう。

ちなみに、高校で頑張りたいことで「部活動」について書く人が例年いるのですが、あくまでも高校は学業を目的として進学しますので、学習面で頑張りたいことも必ず書きましょう。